

平成21年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」に係る
「基礎的・基本的な事項に関する調査」の結果について

平成22年1月15日（金）に、東京都教育委員会による「基礎的・基本的な事項に関する調査」が実施されました。調査の概要と考察については下記の通りです。

1. 調査の概要について

(1) 調査実施日 平成21年1月15日（金）

(2) 調査の目的

教科の目標や内容の実現状況や課題を把握して指導方法の改善・充実に生かすことで、児童に確かな学力の定着と伸長を図る。

(3) 調査対象児童数 第4学年児童 105名

(4) 調査の内容

調査方法	調査内容
ペーパーテストによる調査	国語、算数
質問紙による調査	学習等に関する意識など

(5) 受験者数

国語	103名
算数	103名
質問紙による調査	103名

(6) 調査項目

教科	調査項目
国語	・漢字の読み(「学年別漢字配当表」第3学年までのもの) ・漢字の書き(「学年別漢字配当表」第3学年までのもの) ・言葉に関する知識 ・話すこと、聞くこと ・書くこと ・読むこと ・文学的な文章の読み ・説明的な文章の読み
算数	[数と計算](1)数についての理解 (2)整数の四則 (3)小数の加法・減法 [量と測定](1)角の大きさ (2)時間と時刻 (3)長さ [図形](1)基本的な平面図 [数量関係] ※その他、既に第1学年から第3学年までに学習した内容を含む。

2. 本校の課題について

国語

○特出する結果(現状)

- ・書く、読む、言語事項の項目で、江戸川区、東京都の平均を上回っている。
- ・話すこと・聞くことに関しては、江戸川区、東京都の平均を下回っている。中でも正答率が低かったのは、「相手の意見を確かめ、話題に沿って話し合う。」項目である。
- ・言語事項の項目では、漢字の読み書き、主語と述語の関係、語句の意味や用法に関する問題の正答率が高い。

○課題

- ・「自分の意見をはっきりと持つ」、「相手の話の中心を意識して話を聞く」、「相手の話を受けて自分の意見を持つ」、「その意見を発表する」といった力の育成

○授業改善のための取組み

- ・朝の会や帰りの会で、身近な話題についてスピーチする機会を設ける。
- ・学級活動や総合的な学習活動などすべての学習活動において、学級全体で共有できる話題を話し合いのテーマにし、児童一人一人の思いや考えを引き出せるようにする。
- ・友達の顔が見える机の配置や、話し合いを促進するための視覚的な資料掲示、司会役や進行役を輪番にし、誰もが経験できるようにするなど、

- 発表する話し合いの場を工夫する。
- ・ディベートやゲーム形式など、多様な形式や手だてを取り入れた話し合い活動を工夫する。
 - ・聞き方のポイントを記入したワークシートを活用しながら、聞き手が発表に対する感想や意見を述べる場を設ける。

算 数

○特出する結果（現状）

- ・量と測定、数量関係の項目では、江戸川区、東京都の平均を上回っている。
- ・数と計算の項目では、江戸川区、東京都の平均を下回っている。中でも正答率が低かったのは、「繰り下がり 2 回の減法の計算」、「余りのある除法の計算」、「商が 2 位数、3 位数になる除法の計算」「積の概算を行い、積を見積もる」項目である。

○課題

- ・基本的な計算能力の定着

○授業改善のための取組み

- ・繰り返し計算練習を重ねることで、反射的に問題を解くことができるレベルまで高めていく。
- ・児童が繰り返し計算練習に励むことができるよう、前学年の内容を含んだ計算検定表を作るなどの工夫していくことで意欲を高める。
- ・前学年での学習を振り返る時間をとる。
- ・児童が興味、関心をもてるような導入を工夫し、意欲をもって算数の学習に取り組めるようにする。
- ・手や体を使っての操作活動を多く取り入れて興味、関心を引き出し、算数の学習に楽しさを感じることができるようにする。
- ・児童の習熟状況を学期毎に把握し、習熟度別学習に取り組みさせる中で、個々の実態に応じた計算練習を継続して指導する。
- ・放課後学習、サタデースクール、サマースクールを活用し、実態に応じて個別に課題を学習する機会を設ける。

3. 確かな学力を培うために

学力調査の結果と、そこから浮かび上がった課題から、コミュニケーションの力や、基礎・基本の学習などの確かな学力を培っていくことの重要性を感じる。そこで本校の取り組みとして、以下の手立てを実施していく。

<すでに実施している手立て>

- ・算数科における少人数および少人数習熟度別指導の実施（3～6年生）
- ・月に一度の土曜スクールの実施（3～6年生・月1回）
- ・通知表および評価についての検討（評価の改善→授業の改善へ）
- ・英語活動を通じたコミュニケーション能力の基礎の育成（校内研究のテーマ「英語に慣れ親しみ、楽しくコミュニケーションを図ろうとする児童の育成」）
- ・読書活動の充実（朝読書の時間の導入、サマースクールにおける読書科授業の取り組み）

<今後実施していく手立て>

- ・個々の学力に応じた授業の展開
- ・土曜スクールの充実（土曜スクールを個々に必要な課題を学べる場に）
- ・放課後学習などの時間を活用した、個別に支援を必要とする児童への対応
- ・体験的な活動を通し、学習の楽しさを味わわせる指導内容の工夫、教材研究
- ・基礎・基本の定着を目指す低学年からの継続した取り組み
- ・家庭での学習習慣を身につけるための生活リズムの見直し
- ・コミュニケーションの力、基礎・基本の学習を身につけるための本校における年間指導計画、評価計画の見直し、改善

以上の取り組みを意図的・計画的に実践し、児童一人一人に確かな学力を定着させていきたい。